

事務事業及び予算の執行実績

(令 6 年度分「一部、令和 7 年度分を含む」)

静岡県立静岡東高等学校

静岡市葵区川合三丁目24番1号

TEL 054-261-6636

FAX 054-263-5970

目

次

1 事務事業の概要	1
2 事務執行の根拠法令調	19
3 学校施設の概要	20
4 在籍生徒調	22
5 入学志願者及び入学者数調	23
6 卒業生の動向調	24
7 生徒の状況	25
8 授業料収納状況調	26
9 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	30
10 預金調	31
11 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	32
12 委託料に関する調	33
13 負担金支出調	36
14 建築工事調	38
15 公有財産調	40
16 借地借家等調	41
17 行政財産貸付・使用許可調	42
18 職員公舎管理状況調	43
19 主要備品調	44
20 職員調	45
21 職員の年齢調	48
22 健康管理	49

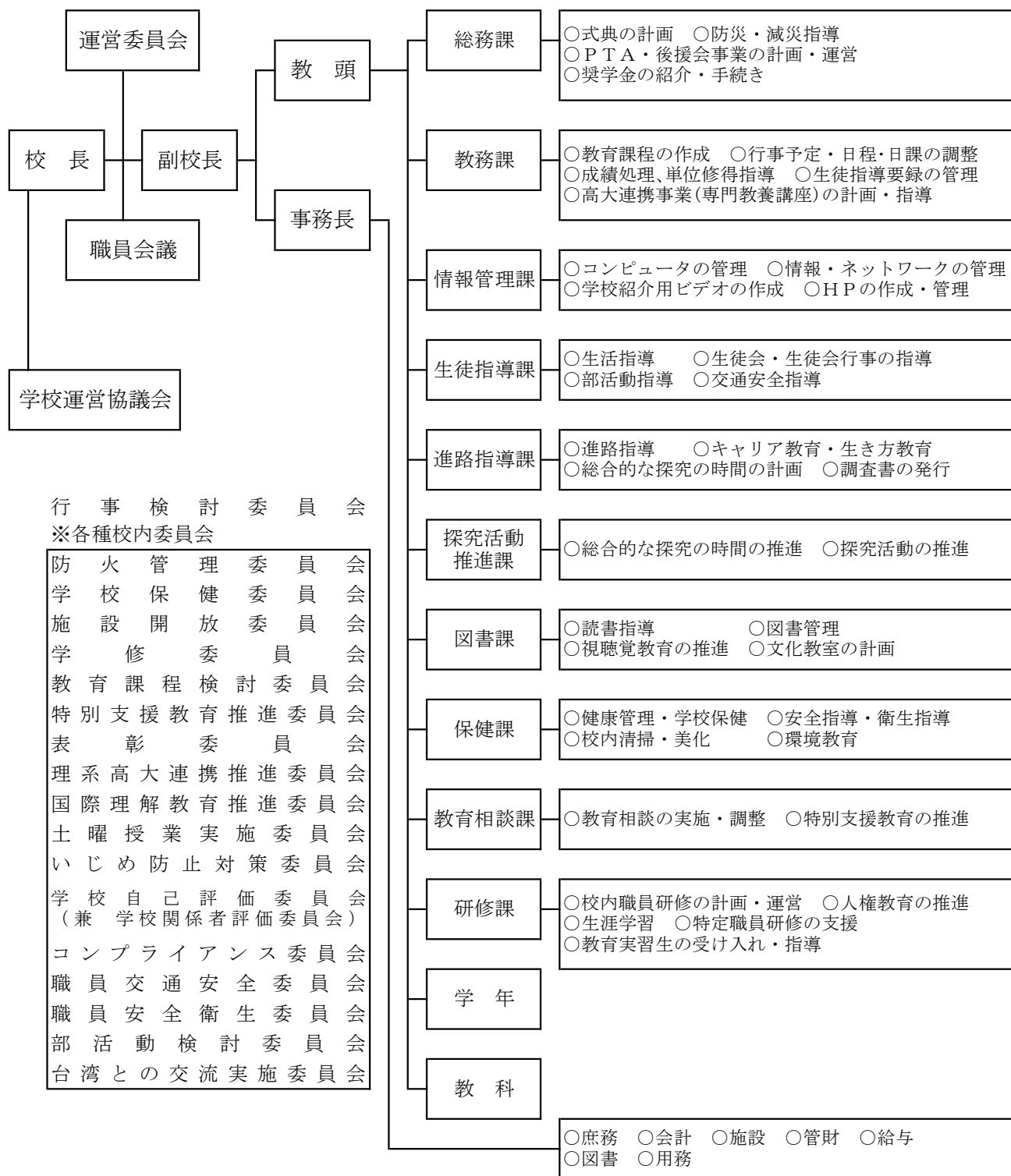
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

昭和38年	3月	15日	静岡県議会にて、静岡県立静岡東高等学校設置を議決
昭和38年	3月	18日	設立準備委員会開催（於 静岡高校）
昭和38年	3月	28日	校章制定
昭和38年	4月	1日	開校（募集定員350人、7学級）
昭和38年	4月	5日	別館第1期工事竣工
昭和38年	4月	8日	第1回入学式挙行
昭和39年	3月	20日	別館第2期工事竣工
昭和40年	5月	28日	本館完成
昭和40年	9月	28日	校歌作詞成る（谷川俊太郎氏）
昭和40年	12月	16日	校歌作曲成る（林 光氏）
昭和40年	12月	20日	校旗成る
昭和41年	1月	14日	正門、体育館完成
昭和41年	2月	10日	運動場拡張工事完成
昭和42年	2月	18日	東龍館（格技場）道場開き
昭和42年	5月	20日	プール完成（50m×8コース）
昭和49年	4月	1日	1学級増（8学級）となる
昭和49年	11月	15日	弓道場完成
昭和52年	9月	12日	運動場夜間照明装置完成
昭和53年	6月	10日	地震予知観測学習モデル校となる
昭和53年	8月	31日	特別教室棟（美術・書道教室）完成
昭和54年	3月	20日	櫓寮完成（3月27日落成式）
昭和55年	4月	1日	1学級増（9学級）となる
昭和56年	3月	10日	新館完成
昭和56年	3月	16日	運動場用地（テニスコート用地）拡張
昭和59年	9月	30日	本館耐震補強工事完了
昭和62年	3月	20日	新教室棟（音楽教室）完成
昭和62年	4月	1日	1学級増（10学級）となる
平成元年	3月	15日	全天候型テニスコート完成
平成4年	4月	1日	1学級減（9学級）となる
平成6年	4月	1日	1学級増（10学級）となる
平成7年	4月	1日	1学級減（9学級）となる
平成9年	11月	28日	新体育館完成
平成10年	1月	16日	新部室完成
平成10年	2月	20日	旧体育館・部室解体撤去
平成10年	3月	19日	静岡広域都市計画のため学校用地の一部を静岡市へ譲渡・売払
平成10年	3月	25日	正門、フェンス完成
平成10年	4月	1日	2学期制を導入
平成10年	11月	27日	公共下水道へ接続完了
平成11年	9月	30日	大規模補修工事（本館南面サッシ取替工事ほか）完了
平成13年	4月	1日	1学級減（8学級）となる
平成14年	2月	15日	新パソコン教室完成
平成15年	8月	13日	校長住宅解体撤去
平成15年	12月	4日	校長住宅敷地所属替
平成18年	12月	25日	別館一部の耐震補強工事完了
平成19年	5月	24日	新館、本館（一部）及びプール更衣室の耐震補強工事完了
平成19年	12月	19日	別館の耐震補強工事完了
平成21年	12月	25日	櫓寮改修工事完了
平成23年	4月	1日	3学期制に戻す
			土曜公開授業を始める
平成23年	12月	15日	本館トイレ改修工事完了
平成25年	3月	25日	災害用仮設トイレ完成
平成26年	10月	10日	本館外壁塗装工事完了
平成27年	4月	30日	学力向上アドバンススクール指定校となる
平成29年	9月	22日	渡り廊下建具等改修工事完了
平成30年	5月	31日	魅力ある学校づくり「コアスクール」指定校となる
平成31年	4月	1日	1学級減（7学級）となる
令和3年	6月	2日	オンリーワン・ハイスクール（アカデミック・ハイスクールⅠ類）指定校となる （～令和5年度）

(2) 組織図



2 スクールミッション

卒業後多くが大学等に進学する静岡地区の文武両道の学校として、生徒一人ひとりの可能性を広げる個に応じた手厚い教育を通じて、自分に負けず、明日を拓き、主体的に社会を作っていこうとする人材の育成を目指す。

3 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
・「自分を知る（自己理解）」 自分を正しく見つめ、幅広い教養と多角的論理的な思考力を身につけ、粘り強く、豊かな人間性を育む。 ・「自分を変える（自己変革）」 高みを目指し、仲間と試行錯誤して、未知の物事に挑戦するための意志や創造力を育む。 ・「自分を超越（社会貢献）」 視野を広げて、地域や社会の課題解決に力を尽くす態度や能力を育む。	・柔軟かつ多様な教育活動を実践し、未来の社会に対応できる総合力を育む。 ・互いを尊重し、ともに真理と正義を希求する学習活動を通して、豊かな人間性と創造性を育む。 カリキュラム・ポリシーの補完：「育成を目指す具体的な資質能力（3観点別）」 ・知識・技能 →幅広い教養，真理を追求する力 ・思考力・判断力・表現力 →課題設定力，課題解決力，発信力 ・学びに向かう力 →継続力，メタ認知能力，レジリエンス，協働力，リーダーシップ，チャレンジ精神	・基本的な学習習慣が確立され、主として大学進学を目指し、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒。 ・部活動、学校行事、生徒会活動、校外活動等に積極的に取り組んだ経験を活かし、入学後も様々な活動に参加し自分を高めようとする生徒。 ・学校や社会の規範を守り他者と協働して、生徒実行目標「自分に負けるな」を自己の学校生活に具現化できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために組織的な授業改善に取り組み、確かな学力を育成する。
- イ 外部人材の活用や高大連携をとおして生徒のキャリア発達を支援し、高い志を持ち、進路目標に挑戦しようとする態度を育成する。
- ウ 授業、部活動、学校行事をとおして、目標に向けた自己調整力や、多様な人々と協働しながら課題を解決する力を育成する。
- エ 心身の健康促進を図り、災害・事故・病気等から命を守り、自他を尊重する精神を育成する。
- オ 広報活動の充実に取り組み、中学生とその保護者、地域住民や市民に、様々な教育活動や生徒が活躍する姿を周知する。
- カ 職員相互の意思疎通や連携を大切にした職場環境を整備し、生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるよう働き方改革を進める。
- キ 県教育委員会と連携し、新校舎建築に係る業務を円滑に進めるとともに、工事期間中の安全で快適な学校生活を整備する。
- ク 時代の要請に応えとともに、持続可能な教育活動を推進する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和 6 年度の取組目標への評価及び成果と課題

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
ア 授業改善 と確かな 学力の向上	教員の授業参観 年3回以上 100%	目標達成率は91.7%で、100%まであと一息であった。	A	授業実践力の向上が生徒の学習意欲、学力アップに直結するため今後も教員相互の授業参観や外部機関における教科指導セミナーへの参加を積極的に進めていきたい。	教務 研修 情報 教科
	「授業をととして新たな見方考え方や知識技能を身に付けた」と答える生徒の割合 全科目で80%以上	科目、学年に分けて実施したアンケートで56の調査集団のうち55の集団で目標を達成できた。	A		
	教員の教科指導セミナー 参加者人数 5人以上	主要5教科で1名ずつ長期休暇を活用して教科指導セミナーに参加した。	A		
	1、2年家庭学習時間： 平日1日平均最低90分、 目標3時間以上	1年は目標を達成し、10月は3時間32分まで伸ばした。2年生は各回とも1時間30分程度で目標の達成はできなかった。	C	学力向上には学習習慣が身についていなければならない。学習時間の二極化(生徒間差)が問題。教科バランスと集中力養成が課題。	進路 学年 教科
	1、2年11月進研模試 偏差値平均55以上	1年は56.5、2年は55であった。	A	2年生は7月の57から下がった。ボリュームゾーンの成績の向上が課題。	
	大学入学共通テスト平均点 全国平均+5%以上	本校の平均点は全体で652点(文系661点、理系644点)。文理別の推定点との比較では、文系は+41点、理系は+11点であり、文系は目標の達成ができたが理系はできなかった。	B	苦手科目をいかに攻略するかが課題だ。共通テストに移行後、思考力をより強く求められている。日頃から、考える習慣が身につくような教授法を各教科で開発したい。	
	学習支援プラットフォーム (Classi、C-learning等)の 学習指導への活用	1、2年はC-learningのみとなり、3年はClassi、C-learningの併用とした。	B	C-learningは連絡用ツールとしてはとても優れているが、学習支援という観点では使い切れていない。今後の検討が必要。	
	英語外部検定(GTEC等「学びの基礎診断」) CEFR B1 レベル60人以上 A2 レベル500人以上	CEFR B1以上が135人、A2が425人であった。	A	さらにCEFR B1の人数が増えるよう指導する。	
	新教育課程共通テストに対応する学習指導	新教育課程の理念を理解し、日常の授業に反映できるよう取り組んでいる。	A	共通テストに対応する教育課程の検証を進めたい。	教務 進路 学年 教科
	3年間を見通した進路指導計画の検証と改善	次年度より実力テストを廃止し、学びの基礎診断を実施することにした。	A	今後も定期テストのあり方について検討していきたい。	
	「社会の様々な課題の解決に向けて、自ら主体的に関わろうと思う生徒」80%以上	84.9%の生徒が主体的に関わっていると回答した。	A	探究学習の成果が表れている。何事にも常に課題意識を持って取り組める姿勢を養いたい。	探究 学年 教科
	授業への取組状況姿勢について、「自ら進んで取り組んでいる生徒」70%以上	56.8%の生徒が自ら進んで取り組んでいると回答した。また、32.7%の生徒が教師の指示に従って取り組んでいると回答した。	B	前向きに授業に取り組んでいることがうかがえる。より主体的に取り組む姿勢が身に付くよう指導していく。	教科

	授業や探究学習でのICT活用の推進 協働的な学びをすすめるための個別最適な学びにおけるICT活用の推進	百問繚乱による採点と生徒へのフィードバックは授業改善及び観点別学習状況の評価を円滑に進めることができている。	A	引き続き、各教科で授業における端末活用の実践を積み重ねていきたい。	教務 情報 探究 教科
イ 志の育成 と進路目 標への挑 戦	大学模擬授業生徒満足度 90%以上	「興味深かった」の回答が9割あった。	A	進路を考えるよいきっかけになった。	進路 学年
	大学訪問生徒各自の目標達成率 100%（オンライン説明会参加も含む）	夏休みの宿題としてオープンキャンパスへの参加もしくは夢ナビ動画の視聴を課した。	A	今後とも可能な限りオープンキャンパスに参加させる。	
	大学入学共通テスト 5教科型受験率 80%以上	全教科受験率は全体で 78%（文系 67%、理系 91%）であり、わずかに下回った。	B	目標達成のためには文系生徒の国公立大学志望を増やすしかない。首都圏の私大と地方の国公立大の魅力の伝え方を工夫したい。	
	ハイレベル模試受験者数 学年各 30 人以上	1 年は 13 人、2 年は 46 人だった。	C	難関大学の志望者が増加するようなアピールを続ける。	
	県内国公立大学合格者数 60 人以上 国公立大学現役合格者数 卒業生の 50%以上 難関国公立大学（※1） 合格者数 10 人以上 難関私立大学（※2） 合格者数 90 人以上	県内国公立大学合格者数 63 人（現役） 国公立大学現役合格者数 52.3% 難関国公立大学（※1） 合格者数 7 人（現役） 難関私立大学（※2） 合格者数 92 人（現役）	A	引き続き、生徒の希望進路の実現に向けて計画的に取り組んでいきたい。	
	静岡大学、静岡県立大学、常葉大学との連携の有効活用	各大学との連携により、様々な講座を開講することができた。	A	引き続き連携し、各講座の充実と参加者数の増加を目指す。	教務 探究 ※3
	静岡大学理系実験講座 参加者数 20 人以上 満足度 90%以上	静岡大学理系実験講座の参加者は 20 人、満足度は 100%であった。	A	理科に対する興味を喚起することができた。	
	「専門教養講座」の単位取得者 5 人以上	今年は静岡県立大学と常葉大学での開講となり単位取得は 2 人であった。	B	生徒への周知方法の改善と、大学との連携を密にし、5 人以上の単位取得を目指す。	
	SDGs Terakoya 参加者の満足度 90%以上	事後アンケートでは全員が「満足した」と回答した。	A	1 年生の参加者が少なかった。全学年から参加者を募りたい。	
	生徒個人面談回数 年間 5 回以上	年間 5 回以上の面談の機会を設定できた。	A	面談内容についても進路課との連携を強化する。	
	多様化する入試制度についての研究	年内入試の増加、新課程による共通テストの実施など、制度の変更に適切に対応した。	A	今後とも各種セミナー等で情報を得たうえで検討を続ける。	進路
	修学旅行生徒満足度 90%以上	事後アンケートではいずれの研修も 9 割以上が「満足した」と回答した。	A	今年度の取り組みや反省を参考に企画する。	2 年
	SDGs 等に関する外部コンテストプレゼンテーション大会に参加する生徒 30 人以上	外部コンテスト等に参加した生徒 45 名	A	希望はしたが参加できなかった生徒も 50 人近くいるので、より多くの生徒の希望を実現させたい。	探究

ウ 自主自律 の精神と 豊かな人 間性の育 成	遅刻生徒数 1日平均全校で5人以下	1日平均 12.4人	C	新型コロナ以降、遅刻者に限らず、欠席者も含め大幅に増え続けている。効果的な対策を検討していきたい。	教務 学年
	特別活動の活性化と生徒主体の運営力の育成	生徒会や専門委員会で新たな企画・運営を行った。	A	引き続き取り組んでいく。	生徒
	東陵祭生徒満足度 80%以上	東陵祭生徒満足度 93.7%	A	校舎改築に伴う施設の制限への対策。	
	「自ら挨拶をしている」と答える生徒 90%以上	91.0%の生徒が自ら挨拶をしていると回答した。	A	引き続き挨拶の大切さを訴えていきたい。	
	各部活動の目標達成率 80%以上	各部の目標達成率 81.0%	A	各部の実態に合わせた目標の設定と活動への満足度の向上を目指す。	
	部活動活動時間と下校時刻の順守	順守できた。	A	引き続き時間を意識した行動を促していく。	
	情報モラル講座の実施、関連の生徒指導 0件	情報モラル講座を6月に実施。	B	情報機器に振り回されて主体的な生活はできていない。	学年 生徒 ※4 図書
	文化教室生徒満足度 80%以上	生徒アンケートの「大変良かった」と「良かった」の合計は97%であった。	B	次年度は音楽鑑賞となるが、適切な内容を選定することができている。	
	ビブリオバトルの実施	計画通り実施することができた。	A	例年通り実施する。	
	図書館の貸出本冊数 12,000冊以上	引越しの影響もあり、貸出本冊数は9,000冊を超える程度であった。	B	仮設校舎から遠い1年生にいかにか図書館へ足を運んでもらうかを考える必要がある。	
	図書館利用のない生徒への働き掛けの工夫	様々な働きかけや広報活動を行っているが1冊以上本を借りたことのある生徒の割合は50%を超えられていない。	B	引き続き図書館の利用を促進する方策を考える。	
エ 心身の健 康と命を 守る教育 の推進	生徒交通事故件数 10件以下	交通事故 22件	C	事故件数、カード発行ともに減少せず。 引き続き、交通安全指導に取り組みつづ、事故防止のための呼びかけを強化する。	生徒
	重大な生徒交通事故件数 0件	重大事故はなかった。	A		
	自転車指導警告カードの交付を受けた生徒への指導	カード受領者は担任に申告し枚数に応じた指導を行った。	A		
	交通安全街頭指導への保護者参加	校内工事の関係もあり、PTA役員のみの参加とした。	B		
	「ほけんだより」の発行回数 5回以上と発行方法の工夫	予定通り発行し、生徒への啓発活動ができた。	A	マラソン大会前の救急救命講座の実施と生徒参加の検討。	保健
	思春期講座等の保健教育（集団指導）の実施	薬学講座、熱中症講座等開催し情報提供することができた。	A	思春期講座の実施、性の多様性などの啓蒙活動。	
	グループエンカウンター（1年生）の実施	各クラスに事前に指導案を提示し実施することによって、年度初めのクラス経営の円滑化に資することができた。	B	全クラスで実施できたが、実施方法が様々あるので、より本校にとって適切な実施形態を考えて精選していきたい。	教育 学年

	セラプラスの実施と活用 全学年	5月中旬に全学年を対象に、長期欠席中の生徒以外はすべて実施することができた。	B	検査結果を知ることにより生徒理解が一定程度深まった。	
	相談室連絡会の定期開催により、情報や課題の共有及び保護者生徒への適切な支援の実施	「相談室連絡会議」の機能を十分に活用することにより、早期の情報把握を達成できた。	A	「相談室連絡会議」の機能を十分に活用することにより、個々の「生徒の課題や問題点を把握し一定の成果を上げることができた。	
	丁寧な生徒観察と早めの声掛けを実施し、関係職員やSCとの情報共有等、困難を抱えた生徒に対する組織的な支援の実施	SCと関係職員との連携により課題を有する生徒の適切な支援を図ることができた。	A	SCの困難を抱えた生徒への支援活動を効果的にするため組織的な活動ができた。	
	特別支援学校のセンター的機能の活用	県の特別支援研修や地域研修会に参加した職員と関係職員の情報共有ができた。	A	教員間の生徒理解に資することができた。	
	地域防災訓練への生徒参加率80%以上	地域防災訓練への生徒参加率 1年生：46% 2年生：1% 3年生：17%	C	目標を達成することはできなかった。防災訓練の内容も地域によって違いがあるため、来年度以降、地域防災訓練のあり方についても検討していきたい。	
	一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施	情報課との連携のもと、4月の訓練時に実施。	B	安否確認の実施回数について、検討していきたい。	総務
	「心の教育」への保護者参加55%以上 学年保護者会への保護者参加80%以上 東陵室ボランティアへの保護者協力	「心の教育」への保護者参加52.2% 学年保護者会参加率は目標を達成できた。 休日東陵室開放53回中、ボランティア延べ93人	A	保護者が参加する行事については事前に日程の周知を徹底する。 募集期間や方法について検討する。	総務 学年
オ 積極的な 広報活動	土曜公開来校者数 延べ1,600人以上 土曜公開来校者満足度 90%以上	2,000人以上が来校し、満足度は98.7%であった。	A	教員の負担軽減に配慮しつつ、本校の魅力をアピールする機会として継続していく。	管理職
	土曜公開に向けての校内美化点検の実施	公開前日の点検と、当日朝清掃を毎回実施。 クレーム等はなし。	A	仮校舎の分担、清掃方法の検討。	保健
	学校ホームページやソーシャルメディアでのタイムリーな情報発信と週2回以上の更新	ソーシャルメディアでのタイムリーな情報発信ができた。 (毎日更新できている)	A	今後も継続的に情報発信していく。	情報 部活動
	学校ホームページやソーシャルメディアでの各部活動の活動報告 学期1回以上	複数の部活動がソーシャルメディアを利用しての活動報告を実施している。	A	部活動の非公式アカウントを公式アカウントへ移行できた。	
カ 業務改善 と働きやすい職場 づくり	事務室窓口へのクレーム件数 0件	窓口へのクレームはなかったが電話での問合せは数件あった。	A	引き続き丁寧な対応を行っていく。	事務室
	施設設備等の不具合による事故 0件	不具合による事故はなかったが施設等が老朽化しており不良箇所を順次修繕対応した。	A	事故が無いように、迅速な対応をしていく。	
	保健室や職員室の共用スペース等の片付け 校舎建築移転に向けて、計画的に不要品の処分と整理	不要品処分、仮校舎への用具等の移転など、計画的に問題なく実施できた。	A	今後必要なものの整備や不要品の整理等検討を継続。	保健 管理職

	「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上	89.6%の生徒が信頼できる先生がいると回答した。	A	安心して学校生活が送れる環境づくりを大切にしていく。	管理職 運営委員 全職員
	コンプライアンス通信を利用した研修の実施	職員会議で定期的にコンプライアンス通信等の資料を配布し、研修する機会を持った。	A	不祥事や事故を未然に防ぐよう、継続的に取り組む。	
	Google アカウント等を利用した情報共有と意見交換の実施	主に会議資料の共有や緊急連絡等に利用し、ペーパーレスや即時性のある対応が可能になった。	A	引き続き効果的な利用方法を検討していく。	
	校務分掌や部活動における校務整理	各課、部の課題を関係者で共有し、それぞれに解決策を検討した。	B	人数の少ない課へのフォロー体制を検討する。	管理職 情報
	各種調査、教材研究等における ICT の積極的活用と校務の効率化	調査は概ねクラウドを活用して実施できた。書類やプリントをデータで配信するなど校務の効率化ができている。	B	ICT を活用する中で、Google Classroom との併用による煩雑さやスレッドの乱立などの問題点も見えてきた。	
キ 仮設校舎の運用と新校舎建築に関わる業務の遂行	仮設校舎の運用及び新校舎（施設設備配置、諸室配置等）についての情報共有及びそれに対する意見や要望の集約 県教育委員会や施設管理担当部署への意見や要望の伝達と情報交換 教育の質を維持するための施設等の使用計画の検討及び作成	引越しや解体工事のスケジュールの説明を行い、意見や要望の集約を行った。 また、校舎建替に関する大小様々な問題について、必要に応じてワーキンググループで検討調整を行い、校舎建替検討委員会での承認を得て、職員会議に諮った。	A	今後は、建築工事が始まっていくので、漏れがないように進めていく。 これから多くの課題を解決して、対応していかなければならない。先行事例の情報を生かし、よりよい校舎建築を実現したい。	管理職 事務室 ※5
	一足制の実施に伴い、先行事例を活用した校内清掃の新たな体制整備	一足制は浸透し、清掃方法も確立できた。 清掃用具、置き場等設置できた。	A	職員、委員会からの清掃に関する聞き取りを実施し、清掃方法や用具充実に反映させた。	保健
ク 時代の要請に応える教育の推進	外部専門機関や地域との連携による探究的学習の充実と持続可能な形での実施方法の検討 静岡県立大学との連携による探究的学習への参加者数（SDGs 相談会等） 延べ 30 人以上	静岡県立大学との連携事業参加者 SDGs 相談会 24 人 SDGs Terakoya 25 人	A	探究学習のテーマを軸に多くの生徒が県立大学との連携を活用できた。	探究 教科

※1 北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東京科学、一橋、神戸、医学部医学科

※2 早稲田、慶応、上智、ICU、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、関西、関西学院、同志社、立命館

※3 理系高大連携推進委員会

※4 いじめ防止対策委員会

※5 校舎建替ワーキンググループ、校舎建替検討委員会

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業改善と 確かな学力の 向上	主体的・対話的で深い学び、観点別学習状況の評価、ICT活用等の研修、教員相互の授業参観、生徒による授業評価の分析等を行い、指導と評価の一体的改善を推進する。	・教員の授業参観年3回以上 100% ・「授業をととして新たな見方・考え方や知識・技能を身に付けた」と答える生徒の割合 全科目で80%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数 5人以上	教務課 研修課 情報管理課 教科
		高校生のための学びの基礎診断・各種模試等の結果分析、学習時間調査等をふまえた組織的で計画的な学習指導と、個に応じた学習指導を行うことで学力の向上を図る。	・1・2年家庭学習時間：平日1日平均最低90分、目標3時間以上 ・学びの基礎診断（ベネッセ総合学力テスト等）の結果分析に基づく授業改善及び個々の課題克服に向けた学習指導の実践 ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・大学入学共通テスト平均点全国平均+5%以上 ・学習支援プラットフォーム（C-learning、ロイロノート等）の学習指導への活用 ・CEFR B1 レベル 60人以上 A2 レベル 500人以上	進路指導課 学年部 教科
		学習指導要領に基づいた指導体制の確立と大学入学共通テストに求められる資質能力を育成する。	・新教育課程・共通テストに対応する学習指導 ・3年間を見通した進路指導計画の検証と改善	教務課 進路指導課 学年部 教科
		「東陵セミナー」及び各教科の探究的な学習をととして生徒の知的な好奇心を高め、社会問題解決に関わろうとする意識を高める。	・「社会の様々な課題の解決に向けて、自ら主体的に関わろうと思う生徒」 80%以上	探究活動 推進課 学年部 教科
		授業をより一層充実させるとともに、週テストなどを活用して知識・技能の定着を図る。	・授業への取組状況・姿勢について、「自ら進んで取り組んでいる生徒」 70%以上	教科
		ICT環境を整備し、情報機器やクラウドサービス等を活用した学びを推進する。	・授業や探究学習でのICT活用の推進 ・協働的な学びをすすめるための個別最適な学びにおけるICT活用の推進	教務課 情報管理課 探究活動 推進課 各教科
イ	志の育成と 進路目標への 挑戦	進路行事や高大連携による講座等への参加をととして、より高い志の育成を図る。組織的できめ細かな進路指導により、主体的な進路選択ができる力を育み、進路目標の実現につなげる。	・大学模擬授業生徒満足度 90%以上 ・大学訪問生徒各自の目標達成率 100%（オンライン説明会参加も含む） ・大学入学共通テスト5教科型受験率 80%以上 ・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上 ・県内国公立大学合格者数 60人以上 ・国公立大学現役合格者数 卒業生の50%以上 ・難関国公立大学（※1）合格者数 10人以上 ・難関私立大学（※2）合格者数 90人以上	進路指導課 学年部
			・静岡大学・静岡県立大学・常葉大学との連携の有効活用 ・静岡大学理系実験講座参加者数 20人以上 満足度 90%以上 ・「専門教養講座」の単位取得者 5人以上 ・SDGs Terakoya 参加者数 20人以上 満足度 90%以上	教務課 探究活動 推進課 ※3
			・生徒個人面談回数 年間5回以上	教務課
			・多様化する入試制度についての研究	進路指導課
		東陵セミナーを軸として授業・特別活動・部活動についてカリキュラム・マネジメントに努めることで、カリキュラム・ポリシーに掲げる資質能力を育成する。	・修学旅行生徒満足度 90%以上 ・SDGs等に関する外部コンテスト・プレゼンテーション大会に参加する生徒 30人以上	2年部 探究推進課

ウ	自主自律の精神と豊かな人間性の育成	部活動や学校行事等の特別活動をととして、メリハリのある生活習慣や目標に向けて主体的に取り組む態度、他者と協働する力を育成する。	・遅刻生徒数 1日平均全校で5人以下	教務課 学年部
			・特別活動の活性化と生徒主体の運営力の育成 ・東陵祭生徒満足度 80%以上 ・「自ら挨拶をしている」と答える生徒 90%以上 ・各部活動の目標達成率 80%以上 ・部活動活動時間と下校時刻の順守	生徒指導課
		モラルと品位のある生活態度と人権感覚を涵養する。	・情報モラル講座の実施、関連の生徒指導 0件	学年部 生徒指導課 ※4
		文化教室・読書指導等をととして豊かな感性を育成する。	・文化教室生徒満足度 80%以上 ・ビブリオバトルの実施 ・図書館の貸出本冊数 12,000冊以上 ・図書館利用のない生徒への働き掛けの工夫	図書課
エ	心身の健康と命を守る教育の推進	交通安全指導を充実させることで交通ルールとマナー遵守の態度を育成する。	・生徒交通事故件数 10件以下 ・重大な生徒交通事故件数 0件 ・自転車指導警告カードの交付を受けた生徒への指導 ・交通安全街頭指導への保護者参加	生徒指導課
		保健教育と教育相談機能を充実させることで、健康で心身の調和が取れ、レジリエンスが高い生徒を育成する。	・「ほけんだより」の発行回数5回以上と発行方法の工夫 ・思春期講座、熱中症対策等の保健教育（集団指導）の実施	保健課
			・グループエンカウンター（1年生）の実施 ・セラ・プラスの実施と活用 全学年 ・相談室連絡会の定期開催により、情報や課題の共有及び保護者・生徒への適切な支援の実施 ・丁寧な生徒観察と早めの声掛けを実施し、関係職員やSCとの情報共有等、困難を抱えた生徒に対する組織的な支援の実施 ・特別支援学校のセンター的機能の活用	教育相談課 学年部
		災害時の備えを充実させ、防災・減災意識を育成する。	・防災倉庫内の食料、備品等の確認 年1回以上 ・防災訓練の計画的な実施 年2回以上 ・一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施	総務課
オ	積極的な広報活動	学校公開や学校説明会、合同進学相談会、中学校での進路学習講座への協力をととして、本校の特色や生徒の成長を積極的に発信する。	・土曜公開来校者数 延べ1,600人以上 ・土曜公開来校者満足度 90%以上	管理職
			・土曜公開に向けての校内美化点検の実施	保健課
			・学校ホームページやソーシャルメディアでのタイムリーな情報発信と週2回以上の更新 ・学校ホームページやソーシャルメディアでの各部活動の活動報告 学期1回以上	情報管理課 部活動
カ	業務改善と働きやすい職場づくり	学校の窓口として、常に丁寧な応対を心掛け、来客や外部からの問い合わせ等に速やかに対応する。	・事務室窓口へのクレーム件数 0件	事務室
		施設・設備・物品の環境整備について、いち早く危険箇所や不具合を発見し、速やかに対応する。	・施設設備等の不具合による事故 0件	
		不要品の処分や整理整頓・清掃により、職場を働きやすい環境へ整える。	・保健室や職員室の共用スペース等の片付け ・校舎建築・移転に向けて、計画的に不要品の処分と整理	保健課 管理職

		不祥事根絶研修により、コンプライアンス意識を高め、教職員の協働・連携体制を整える。	・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・コンプライアンス通信を利用した研修の実施 ・Google アカウント等を利用した情報共有と意見交換の実施	管理職 運営委員 全職員
		ICT やクラウドサービスを活用した業務改善に取組み、教職員の多忙化を解消する。	・校務分掌や部活動における校務整理 ・各種調査、教材研究等における ICT の積極的活用と校務の効率化	管理職 情報管理課
キ	仮設校舎の運用と新校舎建築に関わる業務の遂行	教育の質を維持するため、仮設校舎の運用及び新校舎の基本設計について検討を重ねる。	・仮設校舎の運用及び新校舎（施設設備配置、諸室配置等）についての情報共有及びそれに対する意見や要望の集約 ・県教育委員会や施設管理担当部署への意見や要望の伝達と情報交換 ・教育の質を維持するための施設等の使用計画の検討及び作成	管理職 事務室 ※ 5
			・仮設校舎の清掃の徹底と快適な学びの空間の創出	保健課
ク	時代の要請に応える教育の推進	探究的な学習及び教科横断的な学習をとおして、地域や社会の諸課題を見出し解決しようとする態度を育成する。	・外部専門機関や地域との連携による探究的学習の充実と持続可能な形での実施方法の検討 ・静岡県立大学との連携による探究的学習への参加者数（SDGs 相談会等） 延べ 30 人以上	探究活動 推進課 教科

※ 1 北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東京科学、一橋、神戸、医学部医学科

※ 2 早稲田、慶応、上智、I C U、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、関西、関西学院、同志社、立命館

※ 3 理系高大連携推進委員会

※ 4 いじめ防止対策委員会

※ 5 校舎建替ワーキンググループ、校舎建替検討委員会

4 監査対象期間における特色ある取組

(1) 令和6年度

取組概要	成果及び課題
1 土曜公開授業 5月から2月まで、年間15回実施した。そのうち中学生とその保護者に対し、学校説明会を7回、部活動公開を2回実施した。また、中学生への公開日ではない土曜授業日も、本校保護者や地域の方々に来校していただけるよう配慮した。 2 保護者会 第1回は、5月中旬にクラス懇談会として実施した。各クラスで担任からの近況報告に加え、「心の教育」として、保護者同士の意見交換等を行った。第2回は、7月初旬に静岡県男女共同参画センターを会場に、学年ごとに実施した。学校からの近況報告や2学期以降の学校行事等についての説明、進路指導課長による講話を行った。 3 高大連携 (1) 専門教養講座 前期と後期に分けて、静岡大学、静岡県立大学、常葉大学の講座受講生を募集した。講座修了者は高校での修得単位となる。 (2) 静岡大学理学部・農学部実験講座 8月に実施した。 4 グローバル化 (SDGs Terakoya) 語学部の生徒が、静岡県立大学の研究室を訪問し、SDGsをテーマに英語による活動(ディスカッション等)を行った。また、本校を会場にした講座も開講した。 5 キャリア教育(大学模擬授業) 1・2年生を対象に、本校を会場に県	1 土曜公開授業 年間を通じて2,000人以上(前年度約1,700人)が来校、アンケートの満足度は98.7%(前年度93.6%)であった。 例年、授業公開に加え、学校説明会も同時に開催している。4月当初から毎回出席者があり、特に夏休み直前の7月には例年を大きく上回る参加者があった。 土曜に正規の授業を行うことで、平日の放課後の時間を確保でき、学習や部活動、生徒会活動等の活動時間にあてることができている。 2 保護者会 第1回が約50%、第2回が約85%の出席率であった。平日午後開催の第1回に比べ、第2回は夕刻の開催で、近況報告や講話等、まとまった内容であるため出席率が高いと考えられる。 3 高大連携 (1) 専門教養講座 静岡大学、常葉大学でそれぞれ1名ずつが受講した。 大学との連携を密にし、受講生を増やしたい。 (2) 静岡大学理学部・農学部実験講座 参加者は20名、参加者の満足度は100%であった。理科に対する興味を喚起することができた。 4 グローバル化 (SDGs Terakoya) 語学部を中心に25名が参加し、事後アンケートでは全員が「満足した」と回答した。内容、募集方法を工夫し、継続していきたい。 5 キャリア教育(大学模擬授業) 大学教育の専門性の高さに触れ、進路

内外の大学教授・准教授による模擬授業を実施した。 6 「総合的な探究の時間」 SDGsをテーマに探究的な学習及び教科横断的な学習に取り組んだ。 7 小学生学習支援ボランティア 有志生徒が、近隣の千代田東小学校に出向いて、小学生への学習ボランティアと遊びを通して交流を深めた。	意識の高揚を図ることができた。 6 「総合的な探究の時間」 1年生は、静岡共育ネットや静岡大学のサポートを受け、講義を受けたり、自分たちで定めたテーマに関連した企業等を訪問してインタビューを行ったりして研究を深めることができた。 2年生は、静岡県立大学の学生や大学院生等との活動を通じて、学びを深め、視野の拡大につなげることができた。また、環境分野を選択した生徒が、夏休みに静岡県立大学を訪問し、教授らから直接研究テーマに関する助言等を受ける機会を持つことができた。 7 小学生学習支援ボランティア 本校生の良さや、教育活動を地域住民に周知できている。また、教育学部や保育系統への進学志望者を中心に、進路選択の参考になる大切な機会となっている。 令和6年度は年3回実施、延べ62人が参加した。
--	---

(2) 令和7年度

取組概要	成果及び課題
1 土曜公開授業 5月から2月まで、年間16回実施する。 授業公開に加え、入試説明会や部活動計画等の時間を設け、中学生や保護者への広報活動も行う。 2 学年保護者会 第1回保護者会は、5月のPTA総会（書面開催）と同時に、心の教育をテーマに学級懇談会を開催した。第2回保護者会は、7月初旬に静岡県男女共同参画センターを会場に、学年ごとに実施した。例年どおり、学校からの近況報告や2学期以降の学校行事等についての説明、進路指導課長による講話を行った。 3 高大連携 (1) 専門教養講座 静岡大学、静岡県立大学、常葉大学の授業を受け、一定の水準に達した生徒は本校の単位を付与する。早くから大学での学びを体験し、進学意欲や応用的な学力の習得が期待できる。 (2) 静岡大学理学部・農学部実験講座 夏休みに静岡大学を訪問し、大学の教職員の指導の下、高校ではできない実験等を行わせてもらう企画。 理系分野の知見の拡大と理系学部への進学意欲の向上が期待できる。 4 グローバル化（SDGs terakoya） 語学部の生徒を中心に、静岡県立大学の研究室を訪問し、SDGsをテーマに英語による活動（ディスカッション等）を行う。 5 キャリア教育（大学模擬授業） 県内外の大学教授・准教授の来校により、模擬授業を実施する。大学教育の専門性の高さに触れ、進路意識の高揚を図る。 6 「総合的な探究の時間」 SDGsをテーマに探究的な学習及び教	1 土曜公開授業 2 学年保護者会 第1回が約50%、第2回が約85%の出席率であった。平日午後開催の第1回に比べ、第2回は夕刻の開催で、近況報告や講話等、まとまった内容であるため出席率が高いと考えられる。 3 高大連携 (1) 専門教養講座 (2) 静岡大学理学部・農学部実験講座 4 グローバル化（SDGs terakoya） 5 キャリア教育（大学模擬授業） 6 「総合的な探究の時間」

科横断的な学習に取り組む。 静岡共育ネットのサポートを受け、学びに適した企業を紹介してもらったり、静岡大学や静岡県立大学との連携も取り入れたりして学びを深めていく。 1年生は、夏休みに、探究インタビュー（企業等訪問）として、大学、市役所、企業等、さまざまな事業所を訪問してインタビューを行う予定。 2年生のうち環境分野を選択した生徒は、夏休みに、静岡県立大学にて、教授らから研究テーマに関する助言等を受ける予定。 7 小学生学習支援ボランティア 有志生徒が、近隣の千代田東小学校に出向いて、小学生への学習ボランティアと遊びを通して交流を深める。	7 小学生学習支援ボランティア
--	------------------------

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	教諭 (再任用)	任期付 任用職員	臨時的 任用職員	事務長	主査	主任	会計年度 任用職員	合計
転出者			1	3	1								5
退職者	1			2		1		1				7	12
転入者	1		1	5		4							11
新任者												7	7
差引増減	0	0	0	0	△ 1	3	0	△ 1	0	0	0	0	1

(2) 現員数

(令和7年5月31日現在)

職名 区分	本 務 職 員												小計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護 教諭	主任 実習助 手	任期付 任用職 員	事務長	主査	主任			
男	1	1	1	33				1	1	1			39
女				16	1	1	1		1				20
計	1	1	1	49	1	1	1	1	2	1	0	0	59

職名 区分	会計年度任用職員				小計	合計
	非常勤 講師	非常勤 労務 職員	スクール カウンセ セラー	A L T		
男	1	2		1	4	43
女	3		1		4	24
計	4	2	1	1	8	67

(3) 健康管理について

職員の健康状況について常に注意を払い、指定年齢検診、生活習慣病検診、婦人科検診、人間ドック等での受診を促し、健康管理医の指導のもと、疾病早期発見・早期治療に努め、健康管理に留意している。また、職員安全衛生委員会を定期的に開催して職場の安全確保に努め、健康づくりへの意識の高揚を図っている。実験時や部活動時における安全管理にも十分注意を払っている。

(4) 教職員の研修について

教職員の資質向上及び教育活動の活性化を図るため、次の研修等を実施している。

年度	目的	取組内容	成果・課題
6	・主体的・対話的で深い学び、観点別学習状況の評価、ICT活用等の研修、教員相互の授業参観、生徒による授業評価の分析等を行い、指導と評価の一致の改善を推進する。	・観点別学習状況の評価やICT（C-learning等）活用の研修、教員の相互授業参観の実施、生徒による授業評価の分析等により授業改善を推進する。	・教務課を中心に、観点別評価についての説明やC-learningの活用研修を行った。また、ICT支援員によるCANVAの研修を開催し、業務改善のヒントを得ることができた。 ・教員による授業の相互参観（年3回以上）の実施率は91.7%であった。また、授業アンケートでは調査対象56集団のうち55集団で80%以上の生徒が「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けた」と答えた。
	・経年研修等での自主研修や、学校訪問での公開授業や協議での学びを通じ、資質向上を目指す。	・経年研修での社会体験研修では、個々の専門性や関心に基づいた研修を企画する。また、公開授業等を通じて、教科指導力の向上を目指す。	・社会体験研修の対象者5名について、それぞれの専門分野や異業種での就労体験を意識した研修先を選定して研修に取り組んだ。 ・学校訪問の公開授業は、英語科と地歴公民科が担当し、積極的な協議を行うことができた。
	・新課程の大学入試共通テストに向けての取り組みを組織的に進める。	・新課程に対応した大学入学共通テストに関する情報収集等を行う。 ・共通テストの問題を各教科で分析し、学力向上のための対策を検討する。	・各教科で分析に取り組み、教員間で共有した。また、本校の進路資料「みおつくし」にも掲載し、生徒への情報提供を行った。
	・教職員の不祥事予防、根絶	・教職員の不祥事根絶に向けたコンプライアンス研修を定期的実施する。	・毎月の職員会議において、懲戒処分の公表、コンプライアンス通信の内容を周知した。
7	・高校生のための学びの基礎診断・各種模試等の結果分析、学習時間調査等をふまえた組織的で計画的な学習指導と個に応じた学習指導を実践する。	・授業改善に向けて学びの基礎診断の分析方法等を共有したり、学びの基礎診断等の結果に基づいた学習指導方法について理解を深めたりする校内研修を企画する。	
	・教員相互の授業参観、生徒による授業評価の分析等を行い、指導と評価の一体的改善を推進する。	・教員の相互授業参観の実施、生徒による授業評価の分析等により授業改善を推進する。	
	・大学入試共通テストに向けての取り組みを組織的に進める。	・大学入学共通テストの問題を各教科で分析し、学力向上のための対策を検討する。	
	・教職員の不祥事予防、根絶	・教職員の不祥事根絶に向けたコンプライアンス研修を定期的実施する。	

6 防災対策について

指導目標	令和6年度の実施内容、成果・課題	令和7年度の実施内容
防災計画	<目的> ・防災管理者と防災担当を中心として、災害発生時の対応等の周知徹底を図り、生徒、教職員への防災意識のさらなる高揚に努める。	<目的> ・防災管理者と防災担当を中心として、災害発生時の対応等の周知徹底を図り、生徒、教職員への防災意識のさらなる高揚に努める。
防災訓練	<実施日> ・4月22日 火災避難訓練 ①安全で迅速な避難、人員点呼、報告の訓練を行った。 ②災害時安否確認メールの配信テスト、システム確認を行った。 ・9月2日 地震防災訓練 ①安全確保と状況に応じた迅速な避難についての訓練を行った。 ②担任が指導し、正しい知識を身に付ける防災教育を行った。 ・11月25日 1年生防災講話 ①ふじのくにジュニア防災士養成講座を1年生がオンラインで受講した。東日本大震災での津波被害や避難方法について学んだ。 ・12月1日 県地域防災訓練 <重点> ・地震発生時の学校の対応について、生徒と各家庭に周知徹底を図る。特に安否確認のためにメールへの返信を徹底させた。 ・大規模地震発生時に帰宅困難な生徒への対応を確認した。 ・防災用の備品、備蓄の点検と補充を行った。 ・防災管理上の各教職員の任務及び責任の周知徹底を行った。 ・地域防災連絡会議で、近隣自治会や市役所と、避難場所及び避難の際の連絡先などの情報交換を進めた。	<実施日及び予定> ・4月21日 火災避難訓練 ①安全で迅速な避難、人員点呼、報告の訓練を行った。 ②居住地の地区別に集合し、緊急時の対応について説明した。 ③災害時安否確認メールの配信テスト、システム確認を行った。 ・9月1日 地震防災訓練 ・(未定) 1年防災講話 ・12月7日 県地域防災訓練

7 学校施設開放について

「静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱」に基づき、平成13年10月に学校施設開放委員会を設置し、地域住民を対象とする本校体育施設の開放を行っている。

(1) 令和6年度

使用施設	団体名	期間・日数	利用者延数	利用者負担金
体育館	バレーボール (1団体)	4月1日～3月31日 8日間	250	5,704
体育館	バレーボール (4団体)	4月1日～3月31日 58日間	967	30,060
体育館	バスケットボール (1団体)	4月1日～3月31日 28日間	605	15,269
計			1,822	51,033

(2) 令和7年度

(令和7年5月31日現在)

使用施設	団体名	期間・日数	利用者延数	利用者負担金
体育館	バレーボール (1団体)	4月1日～5月31日 2日間	48	1,029
体育館	バレーボール (4団体)	4月1日～5月31日 12日間	167	3,964
体育館	バスケットボール (1団体)	4月1日～5月31日 3日間	57	1,665
計			272	6,658

事 務 執 行 の 根 拠 法 令 調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第53条、 第57条、第59条、第60条、第62条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第1条、第5条、第27条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第1条） 理科教育振興法施行令 静岡県教育委員会処務規程
2 学校管理・運営に関すること	学校教育法（第12条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 静岡県立高等学校学則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校保健安全法（第5条、第13条、第15条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第30条） 社会教育法（第44条、第45条、第47条） 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第6条、第7条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県個人情報保護条例及び施行規則

学 校 施 設 の 概 要

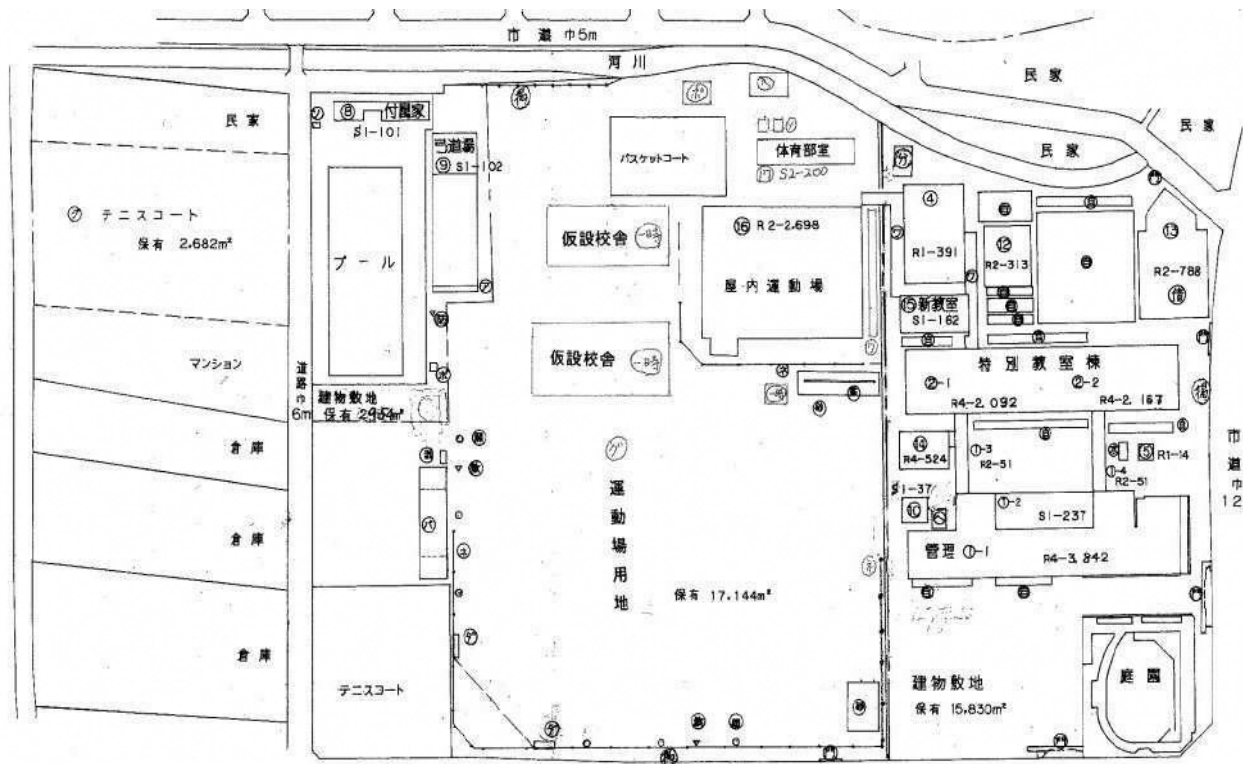
1 面積及び所有区分

(令和7年5月31日現在)

区 分		面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
			県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学校敷地		39,649.62	39,649.62					
内 訳	校舎敷地	19,082.00	19,082.00					
	運動場敷地	20,567.62	20,567.62					
	その他の敷地	0.00	0.00					
校 舎		建 <u>1,521.11</u> 延 5,309.00	<u>1,521.11</u> 5,309.00					
体育館		建 <u>1,435.20</u> 延 2,698.96	<u>1,435.20</u> 2,698.96					
武道場		建 <u>391.20</u> 延 391.20	<u>391.20</u> 391.20					
その他の建物		建 <u>1,489.92</u> 延 1,558.94	<u>1,489.92</u> 1,558.94					
生活館		建 <u>440.41</u> 延 783.78				<u>440.41</u> 783.78		櫓 寮
プール		1	1					50m×8
職員住宅		4 戸	4 戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	39,649.62 m ²	5,309.00 m ²	20,567.62 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調

(全日制)

(令和7年5月31日現在)

学 年	学科別 区分		普 通 科			
			定 員	男 子	女 子	計
1 年	入 学 者		280	145	143	288
		増 加				
		減 少				
	現 在			145	143	288
2 年	入 学 者		280	136	151	287
		増 加				
		減 少		5	1	6
	2年時当初			131	150	281
		増 加		(1)		
		減 少		1		
	現 在			131	150	281
3 年	入 学 者		280	138	143	281
		増 加			(1)	(1)
		減 少		1	1	2
	2年時当初			137	143	280
		増 加		(1)	(2)	(3)
		減 少		1	3	4(1)
	3年時当初			137	142	279
		増 加				
		減 少		2(1)		
現 在			135	142	277	
合 計			840	411	435	846

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		280	280	280	280	280
募集者数 (B)		280	280	280	280	280
志願者数	男	166	163	161	149	150
	女	145	158	164	153	143
	計 (C)	311	321	325	302	293
受検者数	男	165	163	161	149	149
	女	145	158	164	153	143
	計 (D)	310	321	325	302	292
合格者数	男	154	145	138	136	145
	女	137	144	143	151	143
	計 (E)	291	289	281	287	288
志願倍率 (C)/(B)		1.11	1.15	1.16	1.07	1.05
受検倍率 (D)/(B)		1.11	1.15	1.16	1.07	1.05
入学者数	男	154	145	138	136	145
	女	137	143	143	151	143
	計 (F)	291	288	281	287	288
充足率 (F)/(A)		1.04	1.03	1.00	1.03	1.03

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別					
年 度			令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒 業 生 徒 数			262	280	277
内 訳	(進 学 志 願 者)		(262)	(278)	(272)
	進 学 者	大 学 ・ 短 大	241	255	235
		専 修 ・ 各 種 学 校 等	4	6	5
		小 計	245	261	240
	就 職 者		0	2	0
	自 営 者		0	0	0
	進 学 準 備 者		14	15	37
	そ の 他		3	2	0
合 計			262	280	277

2 求人状況(全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就 職 希 望 者 数	1	2	0
求 人 数	49	65	0
求 人 倍 率	49.0	32.5	0.0

3 資格取得状況

該当なし

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年5月31日現在) (単位:人)

市町名	静岡市 (葵区・駿河区)	静岡市 (清水区)	志太榛原地区	その他県内	県外	合計
生徒数	712	113	15	3	3	846
構成比%	84.2	13.4	1.8	0.4	0.4	100

(2) 通学方法 (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	自転車	交通機関	自転車と交通機関	徒歩	その他	合 計
生 徒 数	755	26	53	10	2	846
構 成 比 %	89.2	3.1	6.3	1.2	0.2	100

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分		運 動 部	文 化 部	未加入者	合 計
部(クラブ)数		18	10		28
男子	1年	114	31	0	145
	2年	108	23	0	131
	3年	93	34	8	135
	計(A)	315	88	8	411
	構成比	76.6	21.4	1.9	99.9
女子	1年	70	73	0	143
	2年	69	81	0	150
	3年	63	74	5	142
	計(B)	202	228	5	435
	構成比	46.4	52.4	1.1	99.9
合計	(A)+(B)	517	316	13	846
	構成比	61.1	37.4	1.5	100

授 業 料 収 納

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一期		人	円	人	円	人	円	人	円
	4								
	5								
	6								
	7	107	3,267,000	102	2,910,600	106	3,177,900	315	9,355,500
	8								
	計	107	3,267,000	102	2,910,600	106	3,177,900	315	9,355,500
二期	7								
	8								
	9								
	10	113	5,623,200	105	5,177,700	120	5,910,300	338	16,711,200
	11			1	▲29,700	1	▲49,500	2	▲79,200
	計	113	5,623,200	106	5,148,000	121	5,860,800	340	16,632,000
三期	12								
	1	113	4,474,800	102	4,039,200	117	4,633,200	332	13,147,200
	2					2	19,800		
	3								
	計	113	4,474,800	102	4,039,200	119	4,653,000	334	13,167,000
合計		333	13,365,000	310	12,097,800	346	13,691,700	989	39,154,500

状 況 調

(令和6年度)

収納の状況				異動者の状況
納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
円	収納率 %			円
				A. 期首収納権利発生額＝9,355,500円 (315×9,900円×3月)
				B. 収納権利増減(▲)額＝0円
9,207,000		148,500		C. 収納必要額A(±)B=9,355,500円
9,207,000	1	148,500		
				A. 期首収納権利発生額＝16,731,000円 (338人×9,900円×5月)
				B. 収納権利増減(▲)額＝▲99,000円
16,384,500				〈内訳〉別紙のとおり
		247,500		
16,384,500	1	247,500		C. 収納必要額A(±)B=16,632,000円
				A. 期首収納権利発生額＝13,147,200円 (332人×9,900円×4月)
13,068,000				
19,800		79,200		B. 収納権利増減(▲)額＝19,800円
				〈内訳〉別紙のとおり
13,087,800	1	79,200		C. 収納必要額A(±)B=13,167,000円
38,679,300	1	475,200		D. 収納必要額＝39,154,500円

授 業 料 収 納

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一期		人	円	人	円	人	円	人	円
	4								
	5								
	6								
二期	計								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
三期	計								
	12								
	1								
	2								
	3								
合計	計								

状 況 調

(令和7年度)
(令和7年5月31日現在)

収納の状況				異動者の状況
納期内収納額	収納率	納期後 収納額	収入 未済額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額＝ ー 円
				B. 収納権利増減(▲)額＝ ー 円
				C. 収納必要額A(±)B＝ ー 円
				A. 期首収納権利発生額＝ ー 円
				B. 収納権利増減(▲)額＝ ー 円
				C. 収納必要額A(±)B＝ ー 円
				A. 期首収納権利発生額＝ ー 円
				B. 収納権利増減(▲)額＝ ー 円
				C. 収納必要額A(±)B＝ ー 円
				D. 収納必要額＝ ー 円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年5月31日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	289	0

預 金 調

(令和7年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行 沓谷支店	無利息型 普通預金	0195439	静岡県立静岡東高等学校 資金前渡者 大野 達雄	20,000円	給与
静岡銀行 沓谷支店	無利息型 普通預金	0358867	(自振口)静岡県立静岡東高等学校 資金前渡者 大野 達雄	0円	光熱水費・電話料 社会保険料
残 高 合 計				20,000円	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					5 年度	6 年度	左のうち、5 年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		8,902,100	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		3,987,214	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		722,500	
計					7,772,250	13,611,814	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		2,475,000	
計					2,189,000	2,475,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		121,000	
計					0	121,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		61,475,200	
計					62,761,600	61,475,200	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和 7 年 5 月 31 日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
					うち、6 年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	35,200	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	31,900	0
計					67,100	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	4,000	0
計					4,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計額	契約金額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 静岡県立静岡東 高等学校外7校 消防用設備等 保守点検業務 委託	㈱コーセイ産業	円 19,171,900	円 7,117,792	円 △ 1,478	円 7,116,314	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	5.11.2 6.4.30 計	円 4,922,792 2,193,522 7,116,314	自動火災 報知器、非 常放送設 備、避難 器具等保 守点検	市内8校分 静岡東・静岡・ 静岡城北・静岡 西・駿河総合・ 静岡農業・静岡 商業・静岡中央
2	静岡県立静岡東 高等学校外1校 自家用電気工作 物保安管理業務 委託	高橋電気保 安管理事務 所 高橋 大悟	円 947,210	円 926,200	円 0	円 926,200	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 計	円 67,100 67,100 67,100 67,100 148,500 80,300 80,300 80,300 67,100 67,100 67,100 67,100 926,200	電気工作 物の工事、 維持及び 運用に関 する保安 業務	市内2校分 静岡東 静岡北特支 随契1号 (少額)
3	産業廃棄物収集 運搬及び処分業 務委託	㈱総合美装 ワタナベ	円 129,030	円 129,030	円 0	円 129,030	随契	6.6.27 ～ 6.9.30	6.8.23	円 129,030	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分業務 委託	随契1号 (少額)
4	空調機移設業務 委託契約書	㈱福泉	円 412,500	円 412,500	円 0	円 412,500	随契	6.11.5 ～ 6.11.22	6.12.2	円 412,500	仮設校舎 へ空調機 を移設す る業務委託	随契1号 (少額)
5	産業廃棄物収集 運搬及び処分業 務委託	㈱総合美装 ワタナベ	円 129,250	円 129,250	円 0	円 129,250	随契	6.11.8 ～ 6.12.26	6.12.10	円 129,250	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分業務 委託	随契1号 (少額)
6	製氷機移設業務 委託契約書	ホシザキ湘 南㈱	円 99,000	円 99,000	円 0	円 99,000	随契	6.11.6 ～ 6.11.22	6.12.26	円 99,000	仮設校舎 へ製氷機 を移設す る業務委託	随契1号 (少額)
7	産業廃棄物収集 運搬及び処分業 務委託	㈱総合美装 ワタナベ	円 381,700	円 381,700	円 0	円 381,700	随契	6.12.9 ～ 6.12.26	6.12.26	円 381,700	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分業務 委託	随契1号 (少額)
8	物品移設業務委 託契約書	㈱サカイ引 越センター 中日本本部	円 7,700,000	円 3,949,000	円 0	円 3,949,000	一般	6.10.9 ～ 6.11.29	6.12.26	円 3,949,000	仮設校舎 へ物品を 移設す る業務委託	
9	産業廃棄物収集 運搬及び処分業 務委託	㈱静岡資源	円 140,800	円 140,800	円 0	円 140,800	随契	6.12.18 ～ 7.1.17	7.1.31	円 140,800	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分業務 委託	随契1号 (少額)
10	産業廃棄物(廃 薬品)収集運搬 及び処分業務委 託	ジャパンウェ イスト㈱	円 99,000	円 99,000	円 0	円 99,000	随契	6.12.26 ～ 7.3.10	7.2.19	円 99,000	産業廃棄物 (廃薬品)収 集運搬及び 処分業務委託	随契1号 (少額)
11	産業廃棄物(廃 薬品)収集運搬 及び処分業務委 託	ジャパンウェ イスト㈱	円 99,924	円 99,770	円 0	円 99,770	随契	7.1.24 ～ 7.3.28	7.3.24	円 99,770	産業廃棄物 (廃薬品)収 集運搬及び 処分業務委託	随契1号 (少額)
12	産業廃棄物収集 運搬及び処分業 務委託	㈱総合美装 ワタナベ	円 129,250	円 129,250	円 0	円 129,250	随契	7.2.25 ～ 7.3.31	7.4.10	円 129,250	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分業務 委託	随契1号 (少額)
	合計	12件								13,611,814		

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計額	契約金額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
参考	(事務関係)											
1	静岡県立静岡西 高等学校外10校 プール浄化装置 保守点検業務 委託	大学産業(有)		739,200	0	739,200		6.4.10 ～ 6.11.15			静岡西高校 外10校 プール浄化 装置保守 点検	静岡西高校
2	静岡県立静岡農 業高等学校外 13校可燃物収集 運搬処分業務 委託	(株)静岡清掃 企業		運搬料単価 1回 15,950 処分料単価 1kg 11.0	0	運搬料単価 1回 15,950 処分料単価 1kg 11.0		6.4. 3 ～ 7.3.31			静岡農業 高校外13校 可燃物収集 運搬業務	単価契約 静岡農業高校
3	静岡県立駿河総 合高等学校外13 校警備業務委託	エスピトーム (株)		11,130,900	0	11,130,900		元.10.1 ～ 6. 9.30			駿河総合高校 外13校 警備業務	駿河総合高校
4	静岡県立駿河総 合高等学校外13 校警備業務委託	エスピトーム (株)		12,999,360	0	12,999,360		6.10.1 ～ 11. 9.30			駿河総合高校 外13校 警備業務	駿河総合高校
5	静岡県立静岡高 等学校外7校 ガスヒートポン プ点検業務	(株)ユアーズ 静岡		2,409,000	0	2,409,000		6.5.22 ～ 7.3.31			静岡高校 外7校 GHP点検 業務	静岡高校
6	静岡市葵区・駿 河区県立学校建 築基準法第12条 に基づく定期点 検業務委託	合同会社石 橋剛設計事 務所		3,850,000	0	3,850,000		6.8.9 ～ 7.1.31			静岡市葵区 ・駿河区県立 学校建築基 準法第12条に 基づく定期 点検業務委託	静岡商業高校
	計	5件										

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計額	契約金額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 静岡県立静岡東 高等学校外7校 消防用設備等 保守点検業務 委託	(株)コーセイ産業	円 18,988,200	円 8,067,345	円 0	円 8,067,345	一般	7.4.1 ～ 8.3.31		円	自動火災 報知器、非 常放送設 備、避難 器具等保 守点検	市内8校分 静岡東・静岡 ・静岡城北・静岡 西・駿河総合・ 静岡農業・静岡 商業・静岡中央
2	静岡県立静岡東 高等学校外1校 自家用電気工作 物保安管理業務 委託	高橋電気保 安管理事務 所 高橋 大悟	円 975,260	円 886,600	円 0	円 886,600	随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30	円 67,100	電気工作 物の工事、 維持及び 運用に関 する保安 業務	市内2校分 静岡東 静岡北特支 随契1号 (少額)
	合計	2件								67,100		
参考 1	(事務関係) 静岡県立静岡西 高等学校外9校 プール浄化装置 保守点検業務 委託	三笠産業 (有)		774,400	0	774,400		7.4.14 ～ 7.11.28			静岡西高校 外9校 プール浄化 装置保守 点検	静岡西高校
2	静岡県立静岡農 業高等学校外 13校可燃物収集 運搬処分業務 委託	(株)静岡清掃 企業		運搬料単価 1回 18,000 処分料単価 1kg 15.0	0	運搬料単価 1回 18,000 処分料単価 1kg 15.0		7.4. 3 ～ 8.3.31			静岡農業 高校外13校 可燃物収集 運搬業務	単価契約 静岡農業高校
3	静岡県立駿河総 合高等学校外13 校警備業務委託	エスピートム (株)		12,999,360	0	12,999,360		6.10.1 ～ 11. 9.30			駿河総合高校 外13校 警備業務	駿河総合高校
4	静岡県立静岡高 等学校外7校 ガスヒートポン プ点検業務	(株)ユアーズ 静岡		2,791,800	0	2,791,800		7.5.26 ～ 8.3.31			静岡高校 外7校 GHP点検 業務	静岡高校
	計	4件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校校長協会疎開研究協議会参加費	全国高等学校校長協会疎開研究協議会	開催要項による	全国高等学校校長協会疎開研究協議会参加	4,000	6.5.2
2	東海四県高等学校長連絡協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知による	東海四県高等学校長連絡協議会参加	2,000	6.7.8
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加	2,000	6.7.8
4	高等学校就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期534名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,859,800	振替日 6.7.31
5	甲種防火管理新規講習受講料	静岡市防災協会	開催通知による	甲種防火管理新規講習受講	8,000	6.8.19
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期512名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	25,344,000	振替日 6.10.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(遡及認定)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	79,200	振替日 6.12.11
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期512名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,245,500	振替日 6.1.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期524名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,750,400	振替日 6.1.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△19,800	振替日 7.2.21
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期3名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△29,700	振替日 7.2.28

12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第3期2名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△19,800	振替日 7.3.4
計		12 件			61,475,200	

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年5月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
計		0 件			0	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額		
					当初額	変更 増減額	計
1	教育管理費	静岡東高等学校 物置新設工事	静岡市葵区 川合 地内	円 2,486,000	円 2,475,000	円 0	円 2,475,000
		合 計	1 件	2,486,000	2,475,000	0	2,475,000

(参考)

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額		
					当初額	変更 増減額	計
1	教育管理費	令和5年度[第35-Z2432-01号] 静岡東高等学校 受電設備設置工事	静岡市葵区 川合 地内	円 59,301,000	円 54,560,000	円 1,386,000	円 55,946,000
2	教育管理費	令和5年度[第35-Z2411-01号] 静岡東高等学校 電気設備改修工事	静岡市葵区 川合 地内	円 77,506,000	円 70,741,000	円 13,277,000	円 84,018,000
3	教育管理費	令和5年度[第35-Z2441-01号] 静岡東高等学校 機械設備改修工事	静岡市葵区 川合 地内	円 84,579,000	円 83,050,000	円 23,100,000	円 106,150,000
4	教育管理費	令和6年度[第35-Z1540-01号] 静岡東高等学校 渡り廊下新築工事	静岡市葵区 川合 地内	円 12,441,000	円 11,748,000	円 1,782,000	円 13,530,000
		合 計	4 件	233,827,000	220,099,000	39,545,000	259,644,000

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	(株)ブレイントラスト	7. 1. 17 7. 3. 19	円 2,475,000	コンクリート打設 物置(2棟)設置 アンカー工事 照明器具設置	有	随契1号(少額) 令達年月日 R6.12.20 最終支払年月日 R7.4.14
			2,475,000			

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	藤田電気(株)	5. 9. 26 6. 10. 7	円 55,946,000	屋外型キュービクル新設 変電設備400KVA、6600V 基礎工事、架台設置 引込第1柱工事 樹木伐採 等	有	建設管理局設備課
一般	(株)暁電工	6. 2. 8 6. 10. 7	円 84,018,000	新設キュービクルに伴う電気配 線等切回し工事 ケーブルラック設備工事 地中掘削工事 電灯設備工事 等	—	建設管理局設備課
一般	(株)イヌイ	6. 1. 25 6. 11. 7	円 106,150,000	新設井水設備に伴う水道配 管切回し工事 井戸掘削、受水槽設置 深井水水中ポンプ 1基 加圧給水ポンプユニット 2 基 既設配管の切回し及び撤去	有	建設管理局設備課
一般	たか井建設(株)	6. 6. 13 6. 10. 21	円 13,530,000	渡り廊下新築 アルミ既製品 建築面積68.14㎡ 上記に係る建築一式工事	有	建設管理局 建設工事課
			259,644,000			

公 有 財 産 調

(令 和 6 年 度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 5,193,664		千円 119,661		千円 18,926		千円 5,294,399	
土 地	m ² 39,649.62	4,947,586					m ² 39,649.62	4,947,586	
立木竹	本 197	3,784			40	498	本 157	3,286	
建 物	m ² 建 6,169.98 延 14,359.68	226,789			建 1,332.53 延 4,401.58	16,556	m ² 建 4,837.45 延 9,958.10	210,233	
工作物	個 81	15,505	6	119,661	19	1,872	個 68	133,294	
普通財産		77,782		932		2,578		76,136	
土 地	m ² 400.32	43,142					m ² 400.32	43,142	
建 物	m ² 建 137.36 延 244.52	34,640	建 1,332.53 延 4,401.58	932		2,578	m ² 建 1,469.89 延 4,646.10	32,994	
工作物	個 1	0					個 1	0	
公有財産に 準ずるもの		100		0		0		100	
電 話 加入権	件 6	100					件 6	100	

令和7年度中増減なし

借地借家等調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	借料		契約 期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	住宅建	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	R C 2 階	—	m ² 440.41 783.78	円	無償 円	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 後援会会長	生 徒 合宿所
	建物計					m ² 440.41 783.78					
2	工作物	冷暖房 装置	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (897.00m ²)		3,194,377	6. 7. 1 ～ 19. 6. 30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教 室空調 8教室
3	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (10.00m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 後援会会長	文化祭 等 用 倉 庫
4	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (4.32m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 後援会会長	記念碑
5	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (1.20m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 野球部父母会会長	掲示板
6	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (2.10m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 野球部父母会会長	石 碑 (球魂の碑)
7	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 2 (11.69m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 野球部父母会会長	倉庫
8	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (5.87m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 野球部父母会会長	野球用 具収納 倉庫
9	工作物	雑工作物	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	—	—	個 1 (347.54m ²)		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校 同窓会会長	記念碑 舗床
	工作物計					個 9		3,194,377			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校 敷地	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	学校 敷地	学校 敷地	m ² 19.65		円 免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡市長	防災倉庫
2	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 0.60		免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡市長	避難地標識板
3	〃	〃	〃	〃	〃	電柱 1本 支線 4条	1,500	7,500	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	中部電力(株) 静岡営業所長	電力供給用 電柱1本 支線4条
4	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 6.00		538,560	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株) ベンディング中部日本地区統括部 ベンディング静岡支店	自動販売機(屋外)
5	建物	事務 所建	〃	建物	RC 1階	m ² 4.00		230,384	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株) ベンディング中部日本地区統括部 ベンディング静岡支店	自動販売機(校舎内)
6	土地	学校 敷地	静岡市葵区 川合三丁目 24番1号	学校 敷地	学校 敷地	m ² 41.25		免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡東高等学校PTA会長	PTA職員駐車場(3台) 事務始期H25.4.1 進路・図書始期H27.4.1
7	建物	事務 所建	〃	建物	RC 1階	m ² 8.64		免除	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	静岡東高等学校PTA会長	パン、弁当販売
合 計								776,444			

職員公舎管理状況調

(令和 7 年 5 月 31 日現在)

整理 番号	所在地	建築 年月	構造	管理戸(室) 数(A)	入居戸(室) 数(B)	B の内他事 務所職員入 居戸(室)数	空屋戸 (室) 数 (A-B)	摘 要
1	静岡市葵区 南沼上2丁目 4番10号	H 5 . 6	R C 2階建 1棟	4	2	1	2	静岡東高校 1 人
	計			4	2	1	2	

主 要 備 品 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	PC周辺機器（プロジェクタ等23 セット iPad80台他）	週5日（年間250日） ICT活用授業用	令和元年9月	9,340,952 ^円
2	2-1	パーソナルコンピュータ （一式）	パーソナルコンピューター式 SV1台 ノートPC42台 A4ColPri1台 A3MonoPri1台 他	週4.5日（年間200日） 情報授業用	平成29年3月	5,508,000
3	10-12	トレーニング用器具	レック カールエクステンション 5kgウェイト20枚 重量250kg	週3時間（年間100日） 部活動用	平成元年12月	1,107,250
4	10-12	トレーニング用器具	ハタフライ&ローイングマシン 5kgウェイト20枚 重量255kg	週3時間（年間100日） 部活動用	平成元年12月	952,750
5	3-3	プロジェクター	プロジェクタ装置一式 本体1台 スイッチャー1台 スピーカー2個 スクリーン1本 アンブ1台	月3回（年間30日） 研修・授業用	令和4年3月	886,270
6	10-7	鍵盤楽器	ピアノ ヤマハ YUX	週1日（年間35日） 音楽授業用	昭和57年3月	520,000
7	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等一式 サーバー1式 無停電電源装置1 台	毎日 校内LAN用	平成29年3月	475,956
8	10-5	生物用器具	卓上用クリーンベンチ 島津 SCB-800TS	年間10日 生物授業用	平成2年11月	440,000
9	10-7	鍵盤楽器	ピアノ アップライトピアノ UX	週1日（年間35日） 音楽授業用	昭和55年3月	435,000
10	1-14	エアコンディショナー	壁掛ルームエアコン MSZ-GV3620	週5日（年間130日） 業務用（夏季冬季）	令和2年8月	409,200
11	1-14	エアコンディショナー	壁掛ルームエアコン GV4020S-W	週5日（年間130日） 業務用（夏季冬季）	令和3年7月	385,000
12	10-5	生物用器具	高圧滅菌器 シマヅ KT-30S	月2日（年間22日） 生物授業用	平成10年2月	373,800
13	10-7	管楽器	バリトンサクソフォン ヤマハ	週5回（年間260日） 部活動用	平成16年3月	368,493
14	1-4	移動書庫	移動書庫 ライオン 移動ラックHL型	週5回（年間260日） 業務用	平成2年3月	355,000
15	1-7	製本機	丁合機 デュプロ DFC100L	週5回（年間260日） 業務用	平成29年3月	354,240
16	10-7	管楽器	マーチングユーフォonium 特注品ケース付	週5回（年間260日） 部活動用	平成16年3月	352,116
17	10-12	室外競技用器具	ハンドボール用ゴール	週3回（年間100日） 部活動用	平成14年6月	351,750
18	02-01	パーソナルコンピュータ 周辺機器	無線LANアクセスポイント 電源アダプタ、電源コード	毎日 校内LAN用	平成30年12月	347,400
19	10-07	鍵盤楽器	ピアノ 椅子カバー付	週1日（年間35日） 音楽授業用	昭和38年4月	344,500

職 員 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	職名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	大野 達雄		□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
2	副校長	増田 博俊		□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
3	教頭	藤井 建樹	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
4	教諭	青島 正尚	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
5	教諭	斉藤 雅	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
6	教諭	佐藤 生美	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
7	教諭	鈴木 未来	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
8	教諭	戸田 圭亮	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
9	教諭	細川 美月	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
10	教諭	矢島 隆晴	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
11	教諭	山崎 宏明	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
12	教諭	岩崎 直巳	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
13	教諭	梶山 奈津子	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
14	教諭	釜下 亮	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
15	教諭	久能 弘輝	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
16	教諭	佐藤 広陸	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
17	教諭	服部 孝啓	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
18	教諭	府川 高大	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
19	教諭	松川 理治	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
20	教諭	三津山 千明	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
21	教諭	村松 正治	地歴公民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
22	教諭	石井 佑弥	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
23	教諭	石川 直彦	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
24	教諭	寺沢 克己	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
25	教諭	中本 道男	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
26	教諭	成岡 正晴	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
27	教諭	堀 薫	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
28	教諭	南 和彦	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
29	教諭	見原 航平	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
30	教諭	望月 良一	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
31	教諭	青木 義矢	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□

整理 番号	職名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
32	教諭	青島 征男	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
33	教諭	稲垣 聖二	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
34	教諭	榑原 誠一郎	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
35	教諭	杉本 隼	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
36	教諭	中上 明仁	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
37	教諭	福島 英由子	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
38	教諭	山梨 達也	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
39	教諭	川村 修	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
40	教諭	櫻井 亜希子	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
41	教諭	戸塚 哲弥	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
42	教諭	名取 志帆	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
43	教諭	堀 晃丈	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
44	教諭	望月 樹奈	保健体育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
45	教諭	石垣 直子	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
46	教諭	植野 由香巳	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
47	教諭	小川原 正樹	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
48	教諭	久米 たかね	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
49	教諭	澤口 理恵	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
50	教諭	杉田 真紀	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
51	教諭	名倉 恵理子	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
52	教諭	早川 明子	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
53	教諭	上田 希久代	家 庭	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
54	養護教諭	山本 三緒	養 教	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
55	主任実 習助手	相澤 久里乃	理 科	□□□	□ 年 □ 月	
56	事務長	鈴木 秀幸	事務総括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
57	主査	佐藤 結紀	人事服務、給与	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
58	主査	望月 高史	管財、会計	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
59	主任	野村 和輝	会 計	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
	平均年数				□ 年 □ 月	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	福島 利行	用 務	□□□	□ 年 □ 月	
2	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	森 光弘	用 務	□□□	□ 年 □ 月	
3	会計年度任用職員 (非常勤講師)	鈴木 緑	美 術	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
4	会計年度任用職員 (非常勤講師)	杉山 光映	音 楽	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
5	会計年度任用職員 (非常勤講師)	黒澤 亜純	書 道	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
6	会計年度任用職員 (非常勤講師)	青木 禎彦	情 報	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
7	会計年度任用職員 (スクールカウンセラー)	桜井 直子		□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
8	会計年度任用職員 (ALT)	ラモ ビオ エビファニオ	外 国 語	□□□	□ 年 □ 月	
9	学校医 健康管理医	八木 秀樹	内 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
10	学 校 医	小林 宏明	眼 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
11	学 校 医	南波 孝守	耳 鼻 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
12	学校歯科医	大金 英美	歯 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
13	学校薬剤師	竹内 雄規	薬 剤 師	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□
14						
15						
16						
		非常勤等計		13人		

職員の年齢調

(令和7年5月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	4人	
30歳以上40歳未満	9人	
40歳以上50歳未満	12人	
50歳以上56歳未満	17人	
56歳以上61歳未満	11人	
61歳以上	6人	再任用職員6名
計	59人	平均年齢 47.6歳

健康 管理

1 令和 6 年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 58人
	職 員 数 58人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

産休・育休 人

2 令和 7 年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	(22)人
D 2		要経過観察	(20)人
D 3		医 療 不 要	(17)人
区 分 者 計			(59)人
未区分者数			0人
合 計			(59)人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者に対する措置状況

なし

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 (臨任) 人